

名古屋大学<<未来社会創造機構・特任教員>>公募要領

1	募 集 件 名	特任講師、特任助教、または研究員の公募	
2	所 属	名古屋大学未来社会創造機構	
3	募 集 内 容	[職務内容] ■ JST 共創の場形成支援プログラム「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」において、未利用資源・エネルギーの利活用に資する技術開発を行う。本研究では、アンモニアの電解合成セルを開発する。具体的には、アンモニアの電解合成触媒開発・デバイス設計の研究に従事していただく。	
		[勤務地] 名古屋市千種区不老町	
		[募集人員] 特任講師、特任助教または研究員 いずれか1名	
		[着任時期] 2023 年 6 月 1 日以降のできるだけ早い時期	
4	募集研究分野	(大分類) 総合理工	(小分類) ナノ・マイクロ科学
		(大分類) 工学	(小分類) プロセス化学・化学工学
		(大分類) 化学	(小分類) 複合化学
5	勤 務 形 態	常勤 任期：2024 年 3 月 31 日まで(予算の状況・勤務成績によって更新の可能性有り。ただし最長 2032 年 3 月 31 日まで)。	
6	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細] ・ 関連する分野で博士号を取得(見込み)の方。 ・ 電気化学、触媒化学、化学工学、無機材料化学、物理化学の専門知識を持つ方。 反応は問わないが、電気化学に関連する触媒の開発に研究経験がある方が望ましい。 ・ 責任感があり、他の研究者と積極的にコミュニケーションを図り、情熱を持って研究に取り組んでいただける方。	
7	待 遇	[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)] ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・ 給与は本学において定める年俸制とする。 ・ 祝日・年末年始休日、有給休暇設定あり。	
8	応 募 期 間	2023 年 1 月 13 日 から 2023 年 3 月 12 日(必着) (ただし、適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります)	
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募書類(提出方法)] ① 履歴書(書式自由、写真添付、連絡先とメールアドレスを明記) ② 研究業績リスト(学会誌などの論文、国際会議、著書・解説、特許、受賞などに分類) ③ 主要論文 3 編以内の PDF ④ これまでの研究の内容(A4 用紙 2 項以内)	

		⑤ 本プロジェクトに対する意気込み ⑥ 照会者 2 名の方の連絡先(氏名、所属、連絡先) ⑦ 類型該当性の自己申告書(下記 URL より様式をダウンロードください。) https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/zXHTc8eBAB8Hmcs JREC-IN Portal の「Web 応募」機能を使用し、上記の書類を圧縮するなどして 1 つのファイルにまとめて応募してください。なお、お送りいただいた書類は選考のみに使用しますが、返却はしませんのでご了承ください。 [選考内容] 書類審査のうえ、随時、面接を行います。面接の際の旅費は自己負担とします。 [結果通知方法] 選考結果はメールで通知します。 [問い合わせ連絡先] 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻 (兼)未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 教授 永岡勝俊 nagaoka.katsutoshi@material.nagoya-u.ac.jp
10	そ の 他	① 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会貢献、人物を含む)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ② 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ③ 応募書類は、本選考委員が責任を持って処分し、返却しません。 ④ 面接に要する交通費は支給しません。